絶景と美味の小さな宿15軒

オーベルジュの贅沢

Auberge

ここまでも広がる大海原、キタキツネが駆け抜ける草原、静寂の湖畔、恵みの田園……。
大地に身を置き、土地の美味とともに日本の魅力を再発見できるオーベルジュを取材しました。

TOBEオーベルジュリゾートでは丘の上で朝食を楽しむこともできる。

家庭画報

8
August 2012
KATEIGAHO

ロンドンオリンピック記念企画
内村航平ほか代表選手 特別取材！
日本男子体操、栄光を目指して

絶景と美味の小さな宿15軒
オーベルジュの贅沢
◎ヨーロッパを思わせる眺望と出会う——屈斜路湖（北海道）／砥部（愛媛）／久美浜（京都）ほか
◎母娘、美食三昧の夏休み——箱根、修善寺、内子（愛媛）ほか

芸術都市「ベルリン」の魅力
世界に名を馳せる指揮者 佐渡裕と巡る美術遺産

わが家の庭でホームパーティを
アウトドアキッチンのすめ

「エイジレス・ボディ」の秘訣

新・伝統芸能の若き獅子たち

世界が認める帽子デザイナー
平田暁夫、洗練の帽子

55th Anniversary 2012 KATEIGAHO

ここにしかない
絶景

晴れた日には水平線の先に富士山を望める海辺、一面の野の花に胸躍る広大な草原……。
今回ご紹介するのは、いずれもその土地ならではの豊かな自然の中に佇む絶景のオーベルジュ。
池のほとりに建つTOBEオーベルジュリゾートでは鳥のさえずりとともに目覚めます。
ここにしかない、ここでしか出会えない美しい景色は、訪れた人を一瞬にして非日常の時間へと引き込みます。
そして、「絶景のさらなる魅力は四季折々で異なる美しさ。帰る頃には「次はいつ来よう」と思い始めている。
そんな「一度では堪能し尽くせない宿ばかりです。

美しい池のほとりに建つTOBEオーベルジュリゾートの宿泊棟。

オーベルジュで過ごす贅沢なひととき
——「TOBEオーベルジュリゾート」（愛媛・砥部）に見る

ここでしか味わえない
土地の美味

伊予牛毛和牛など地元、愛媛の食材をふんだんに使ったTOBEオーベルジュリゾートの家庭画報 特別ディナーに代表されるように、ご紹介する二五軒はすべて土地の美味を生かした料理が評判のオーベルジュ。
自家菜園の野菜や近くの港に水揚げされたばかりの魚介類など新鮮な食材を新鮮なうちに、さまざまな調理方法を駆使して作り上げる本格フレンチやスペイン料理。
個性豊かなシェフやソムリエとの会話を楽しんだり、フルコースのディナーとワインで満たされた後そのまま眠りにつけるのも、オーベルジュの醍醐味です。

家庭画報特別ディナーより前菜、スープ、肉料理。詳細は80ページ参照。

何もしない。ただそこにいるだけで満たされてゆく——

ヨーロッパのような眺め

初めて訪れた人の多くがそう感嘆するTOBEオーベルジュリゾートは、湖のように広大な池のほとりにレストラン棟と宿泊棟、二つの離れがあります。
一番の絶景スポットは「エターナルヒルズ」と名づけられた小高い丘の上で、特に朝は、日の出とともに色づく空と、その空を映す水面の美しさが感動的。予約をすれば、そこで朝食を食べたり、ヨガを楽しむこともできます。
また、夜はレストランから見るライトアップされた噴水が美しく幻想的。
一日を通して目にする絶景の数々は、旅の思い出を鮮やかに彩ってくれます。

郷土愛たっぷりのフランス料理

そんなふうに呼びたくなるのが、地元の食材をこよなく愛する総料理長、藤内宏治郎さんの料理です。「砥部は山と海、両方の恵みが豊か」と語る藤内さんが作るディナーは、アミューズグールからデザートまで、すべてに地元の食材を生かすという徹底ぶり。なかには、地元産の煮干しや味噌を使った和を感じる料理もあります。また、藤内さんやソムリエの濱田耕治さんがさりげなく話す食材やワイン、砥部焼に関する興味深いエピソードも、ディナータイムを豊かなものにしてくれます。

連泊でのんびり、何もしない贅沢

それこそが、絶景、美味、プライベートな空間、心地よいサービスというすべてを備えたオーベルジュでの一番の過ごし方かもしれません。
特に予定を立てず、ベッドで本を読んだり、デッキチェアでまどろんだり、気が向けば、噴水を眺めながら、池の周りを散歩したり……。
連泊することで、そんな贅沢な時間をたっぷり楽しむことができます。
腕時計をはずして、携帯電話の電源はオフに。
目をつぶって鳥の声に耳を澄ませば、とびきりの休日が始まります。

1 緑に囲まれた離れは隠れ家的空間。
2 ウェルカムドリンクには梅酒など旬の果実を使った飲み物が供される。
3 レストラン棟のバーラウンジ。
4 離れのバスタブ。風にそよぐ木々を眺めながらゆっくり浸かりたい。
5 シンプルモダンなベッドルーム。
6 鳥の形の靴べら。客室の備品は大半が地元出身の作家のもの。
7 オリジナルの部屋着。女性用は襟のビーズが愛らしい。
8 池に面した宿泊棟から見たドラマチックな朝焼け。
9 丘の上で楽しむヨガは格別。
10 総料理長の藤内宏治郎さん。極上のディナーは、その日の料理に使われる主な食材の説明から始まる。
11 ダイナミックな池の噴水。
12 池の周りの遊歩道。春は桜、秋は紅葉に彩られてひときわ美しい。

TOBEオーベルジュリゾート
（とべおーべるじゅりぞーと）
愛媛県伊予郡砥部町宮内622-7
☎089(960)7501
※詳細は80ページ参照